

令和7年度 研究生・大学院研究生 募集案内

名古屋大学工学部・工学研究科において、特別の事項について研究しようとする者があるときは、設備の許す限り、選考の上、研究生・大学院研究生として、入学を許可します。

◇安全保障輸出管理の「みなし輸出」の改正に係る手続きについて

2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本学への出願者全員に対して「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出を求めることとなりました。

「類型該当性の自己申告書」をご確認いただき、該当結果をご記入の上、出願書類とともにご提出下さい。

- ※ 日本国籍の方を含めて、出願者全員「類型該当性の自己申告書」の提出が必要になります。
- ※ 類型に該当する対象者については、該当性を判断する根拠となるエビデンス資料について出願書類とあわせてご提出ください。
- ※ 一部の学生においては、入学手続き時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。
- ※ 規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があるので、注意すること。なお、詳細については以下の安全保障輸出管理に係るWebサイトを参照すること。 <https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport>

1. 入学資格

I. 研究生

- a. 大学の工学部又はこれに相当する学部を卒業した者
- b. その他教授会において適当と認められた者

II. 大学院研究生

- a. 博士課程において所定の年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた者
- b. 修士の学位を有する者
- c. その他教授会において適当と認められた者

(注) 民間企業に在職のまま研究生・大学院研究生になることはできません。

2. 入学の時期

入学の時期は、学期の始めとします。(春学期：4月、秋学期：10月)
ただし、特別の事情がある場合は、この限りではありません。

3. 検定料

検 定 料 9, 8 0 0 円 (予定額)

検定料9,800円は普通為替にて納入してください。

なお、事前に郵便局で普通為替を作成し、作成した為替には、**氏名等を一切記入しないでください。記入があるものは受理できません。**

4. 出願書類

① 入学願 (本学部・研究科所定の「研究生入学願」)

* 出願前に、必ず指導教員及び学科長又は専攻長の承認印を取得してください。

* 写真 (4×3cmのもの) 貼付のこと

② 履歴書 (本学部・研究科所定用紙)

③ 最終出身校卒業 (修了) 証明書

又は 卒業 (修了) 見込証明書 [本学の工学部・工学研究科出身者は不要]

④ 最終出身校成績証明書 [本学の工学部・工学研究科出身者は不要]

⑤ 類型該当性の自己申告書 (所定用紙)

⑥ 写真 (3×2.4cm: 研究生証用) 1枚

⑦ 封筒 (入学手続等送付用。角型2号・690円分の切手を貼付・住所及び氏名を記入) 1枚

⑧ 検定料 9, 8 0 0 円 (普通為替)

* 出願後、提出書類は返付しません。

5. 出願手続

出願期間： 春学期：令和7年2月27日 (木) ～28日 (金)

秋学期：令和7年8月25日 (月) ～27日 (水)

窓口受付：上記出願期間：9時～15時

提出・郵送先：

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学工学部・工学研究科 教務課入学試験係 (E S 総合館3F)

※ 郵送の場合、**最終日15時必着**。必ず**簡易書留速達郵便**にて、出願期間内に間に合うよう発送願います。

※ 封筒の表に「**工学部・工学研究科 研究生出願書類在中**」と朱書きしてください。

※ 出願書類に検定料9,800円 (普通為替) を添えて提出・郵送願います。

6. 入学許可及び入学手続き

入学の許可又は不許可は決定次第、郵送にて本人に通知します。

また、入学を許可された者は、後日送付する入学手続案内^(※)に従い、所定の期日までに入学料および授業料を納入する必要があります。

(※) 詳細は、別途本人宛通知します。

春学期：令和7年3月中旬 秋学期：令和7年9月下旬を予定。

〈令和7年度研究生授業料等(予定)〉

① 入学料	84,600 円(予定額)
② 授業料	月額 29,700 円(予定額)

春学期(4月～9月)及び秋学期(10月～翌年3月)の2期の区分ごとに、それぞれの期における在学予定期間に相当する授業料の額を4月及び10月に納入していただきます。

* いかなる理由があっても、既納の諸費用は返還しません。

* 入学時および在学中に授業料等の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

* 研究に要する費用は、設備に付帯するもののほか、すべて自弁とします。

7. 在学期間

a. 在学期間は1年とします。ただし、学年の中途において入学した場合における在学期間は、当該学年末までとします。

b. 在学期間が満了しても研究の必要により引き続き在学しようとする者は、研究生・大学院研究生継続願及び履歴書等必要書類を添え、出願期間に出願し、許可を受けなければなりません。

(『研究生・大学院研究生継続手続案内』参照)

8. 個人情報の取り扱い

住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選考、合格発表、入学手続き及びこれらに付随する事項にのみ利用します。

また、取得した情報は適切に管理し、利用目的以外には利用しません。

9. 本件に関する照会先

名古屋大学工学部・工学研究科教務課入学試験係

電話：052-789-3974

Email：eng-admission[at]t.mail.nagoya-u.ac.jp

[at] は、@に換え、件名は必ず【研究生】としてください。

10. その他

◆ 本学では、自動車等の入講規制を行っています。

◆ 入学後の修学に関して相談の希望がある者は、学生支援本部にて随時受け付けているので、お問い合わせください。

【学生支援本部】

電話：052-789-5805

Email：soudan[at]gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp

[at] は、@に換えてください。

研究生入学願

Application for Research Student

年 月 日
Year Month Date名古屋大学工学部長・大学院工学研究科長 殿
To the Dean of School/Graduate School of Engineering, Nagoya University顔写真
(縦4cm x 横3cm)
Photo Paste
(縦4cm x 横3cm)

貴学部・研究科において、下記事項を研究したいので、ご許可くださるようお願いいたします。

As stated below, I hereby apply for admission to the School/Graduate School of Engineering, Nagoya University.

ふりがな Pronunciation in Hiragana 氏名 Name				印鑑 Sig.	
国籍 Nationality		男・女 M・F	生年月日 Date of Birth	年 月 日生 Year Month Date	
現住所 Present Address					
連絡先 Contact	電話 phone		e-mail		
最終学歴 Last school attended	大学 年 月 卒業(修了)・卒業(修了)見込 University Year Month graduated / expected to graduate				
研究事項 Research theme					
研究期間 Term of research	自 2025年 4月 1日 From Year Month Date		至 2026年 3月 31日 To Year Month Date		
身分※ Status	学部研究生 ・ 大学院研究生 Undergraduate Research Student / Graduate Research Student				
学科長又は専攻長承認印 Head of Department Approval	Seal	指導教員 Academic advisor	職名 Position	氏名 Name	承認印 seal of approval Seal

【大学記入欄】 University entry column

受付番号 Application number	受付年月日 Date received	取扱者 Recipient	検定料 Application fee	備考 Remark

類型該当性の自己申告書

名古屋大学に教職員として応募する方、学生として出願する方には「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象であるかどうかの自己申告をお願いさせていただきます。

ご自身の立場について別紙フローチャートを参照いただき、該当の項目にチェックを入れて応募および出願の書類と一緒にご提出ください。

部局 _____

氏名 _____

類型①に該当 類型②に該当 類型③に該当 いずれにも該当しない

類型①～③に該当する方は下記にその根拠を記載し、エビデンスを提出してください

該当性の根拠

例：〇〇機関に雇用されている、〇〇から資金提供・奨学金を取得している、もしくは予定
()

エビデンス資料

例：海外機関の雇用証明書(雇用通知書・契約書)、海外機関からの資金提供通知書(個人)、奨学金の受給通知もしくは申請書など
()

※類型該当性の判断について不明な場合は下記にお問合せください。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 安全保障輸出管理事務局

E-mail : anzen@aip.nagoya-u.ac.jp TEL : 052-747-6702

※類型①～③のいずれかに該当する場合は、「類型該当性の自己申告書」(様式 1) と併せ、このフローチャートも提出してください。

類型該当性判断のフローチャート

類型①

外国法人等(外国大学を含む。)か外国政府等と雇用契約(契約の名称を問わず、時間的・場所的に拘束されるもの)又は取締役としての委任契約を締結しているか？	No <input type="checkbox"/>
Yes <input type="checkbox"/>	
本誓約書の提出先と契約に基づく指揮命令又は善管注意義務が、あなたの外国法人等又は外国政府等との契約に基づく指揮命令又は善管注意義務に優先するとの合意があるか？	Yes <input type="checkbox"/>
No <input type="checkbox"/>	
本誓約書の提出先と、あなたが契約を結んでいる外国法人等はグループ企業の関係にあるか？(通常、大学等では該当しません。)	Yes <input type="checkbox"/>
No <input type="checkbox"/>	
類型①に該当する。	類型①に該当しない。

類型②

外国政府等から、多額の金銭その他の重大な利益を得ている、又は、得ることを約束しているか？	No <input type="checkbox"/>
Yes <input type="checkbox"/>	
その利益を金銭換算した場合、年間所得のうち 25% 以上を占めているか？	No <input type="checkbox"/>
Yes <input type="checkbox"/>	
類型②に該当する。	類型②に該当しない。

類型③

上記の他、日本における行動に関し外国政府等の指示や依頼を受けているか	No <input type="checkbox"/>
Yes <input type="checkbox"/>	
類型③に該当する。	類型③に該当しない。